

住みやすい、安心・安全なまちづくり

緑・富岡環状線の改良工事を行っています！



朝日1号橋の工事の様子

市では、都市環境整備のための街路事業として、平成24年度に緑・富岡環状線の実施設計を行い、平成25年から改良工事に着手しています。

緑・富岡環状線は、南地区に位置する緑・こまどり地区と、東地区に位置する萩見・富岡地区を結ぶ幹線道路として、昭和54年から平成4年にかけて整備されました。

その後、沿線の大規模な宅地開発や大型商業施設の進出等により、交通の混雑が頻発し、市民生活に影響を与える状況となっています。

また、路線内の橋梁について、現在の基準では耐震強度が不足している状況が確認されたことから、街路事業による改良に着手しました。

総事業費約32億5千万円

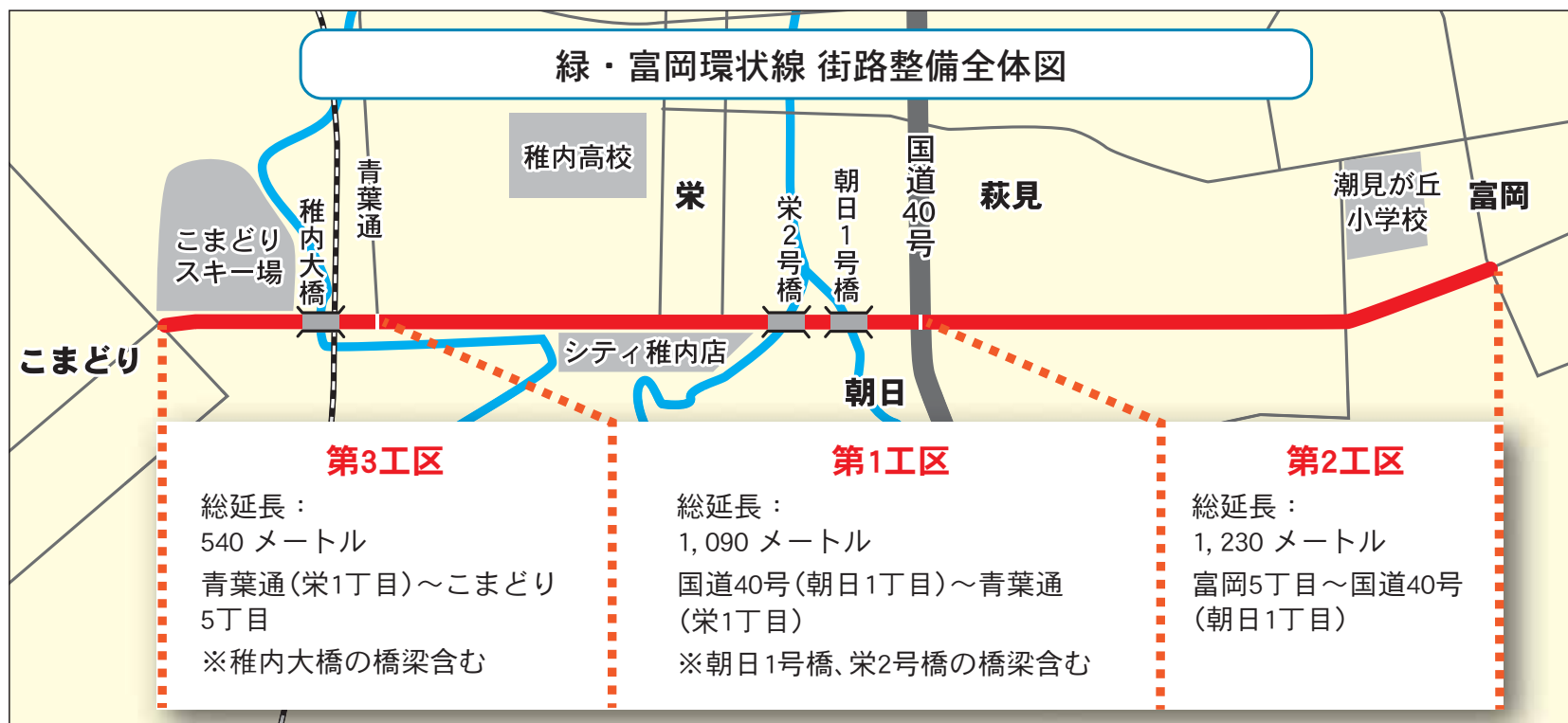
で、国の防災・安全社会資本整備交付金(国土交通省)を受けて行われています。

平成24年度から平成30年度の7年間にわたり、富岡5丁目からこまどり5丁目までの総延長2,860メートルの区間で、橋梁の補強・拡幅、道路の拡幅をはじめ、軟弱地盤対策や冠水対策にも取り組めます。

工事は、下の地図の通り大きく3つの工区に分けて順次施行し、現在は、第1工区の橋梁の補強・拡幅、道路の拡幅、交差点の改良に取り組んでいます。

緑・富岡環状線の改良により、交通の混雑解消や周辺地域の生活環境の一層の向上が図られます。

問い合わせ／
都市整備課事業推進グループ
☎ 2316466



こんにちは
市長です。
No.15



新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。
家族揃って輝かしい2014年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、本当に大きな災害の続いた年でした。
“爆弾低気圧”“局地的豪雨”“大型竜巻”など、これまであまり耳になかった言葉が飛び交い、台風の規模も数も想像を超え、たくさんの尊い命が犠牲になりました。心からご冥福をお祈りします。

そんな2013年でしたが、道外の猛暑が、北海道の爽やかな気候に目を向けさせ、多くの観光客の皆さんに本市を訪れていただきました。地域一丸となって取り組んだ、「北のカナリア」効果、今年も更なる賑わいを期待します。

今年は、「半年」、これまで温めてきた私の思いが、いよいよ、天馬のように駆け出す時だと思っています。内にあつては、「子育てのまち」をキーワードに、外に向かつては「再生可能エネルギー」や「サハリンの後方支援基地」への取り組みを一層加速させます。

引き続き、市民の皆さんの先頭に立ち、誇りを持って住み続けるまちを目指し、全力で頑張ります。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

稚内市長 工藤 広